

平成29年度 熊谷市立三尻中学校 グランドデザイン

学校教育目標 ・思いやりのある生徒 ・自ら学ぶ生徒 ・進んできたえる生徒

思いやりのある生徒を育成するために

しなやかな心を育て、互いに支え合う人間関係をつくる

- (1) 生徒主体の活動を通し、責任感・連帯感の育成。
(リーダー研修会年間3回以上)
- (2) 地域や学校に貢献するボランティア活動の充実。
(ロードサポート及び地域における清掃活動の定着)
- (3) 部活動の活性化及び支え合う人間関係の育成。
(全部活において市内3位以上の成績)
- (4) 人権教育(同和教育)の推進。豊かな人権感覚の育成。(いじめ問題"0")

自ら学ぶ生徒を育成するために

基礎学力の着実な定着に取り組む

- (1) 学習内容を明確にした授業の実践。
(授業満足度95%以上)
- (2) 家庭学習の習慣化と基礎学力の定着。
(家庭学習ノート提出率100%)
- (3) 指導法の工夫・改善の推進、個々の学力伸長。
(校内授業研究会、1人2回以上)
- (4) 指導力向上のための研修充実及び自己研鑽。
(年間6回以上の研修会開催)
- (5) くまがやラクビー・オリパラプロジェクトの推進。

進んできたえる生徒を育成するために

体力を高め、夢と希望を育む

- (1) キャリア教育・進路指導の充実、「社会を生き抜く力」の育成。(自分の将来に夢を持つ生徒100%)
- (2) 是々非々で積極的な生徒指導の推進。
(非行問題行動"0")
- (3) 健康教育の推進。4つの実践・3減運動の取組及びHQCシートの活用。(朝ご飯を食べない生徒"0")
- (4) 持久力・精神力の向上。
(持久力を熊谷市のBest 3に)

学校研究課題

確かな学力の定着に向けた指導方法の工夫・改善 ～学ぶ意欲を高め、互いに認め合う学級・学年集団づくりを目指して～

今年度の重点目標 「イノベーション、次の未来へ」

教育のスリム化を図り、生徒一人ひとりの自己実現を支援する

- (1) 教育課程の吟味と精選を図り、学習活動に適した効果的な指導体制を確立する。
- (2) 生徒一人ひとりの適正を把握し、個に応じた指導・支援を行う。

経営方針 [全教職員の英知と力を集結し、生徒一人ひとりの「生きる力」を育みます]

- (1) 新学習指導要領を視野に入れた教育活動の推進。
- (2) 学習内容を明確にした授業の展開。
- (3) 地域から信頼される学校づくり。
- (4) バランスのとれた指導の実践。
- (5) 人や郷土を愛する心の育成と文化の薫り高い学校づくり。

めざす学校像 [信頼と期待]

- (1) 明瞭な教育活動を推進し、生徒に信頼される学校。
- (2) 健全な教育活動を推進し、地域に期待される学校。

めざす教師像

- (1) 生徒を大切にできる教師。
- (2) 誇りと使命感を持った学び続ける教師。



熊谷教育

学力向上対策を推進し、
「学力日本一」を目指します

～確かな学力を身に付け「生きる力」をはぐくむ教育の推進～



保護者・
地域の願い

- ・豊かな感性をもった子の育成
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・学習の基礎・基本の確実な定着
- ・個々の適性に応じた進路保障

三位一体の教育の推進

- (1)「熊谷の子どもたちは、これができます！4つの実践・3減運動」を保護者とともに推進。
- (2)地域ぐるみの防災教育と開かれた学校づくりの推進。
- (3)「学校だより」の発行や学校の活動を広報し、地域・保護者との連携・強化。

校章の由来（昭和22年に制定）



ペンは学舎を意味し、1つは協力和楽、1つは真摯努力、1つは美しく輝かしい学校を想念したものである。